

過去の自然災害の特徴と必要な対応策
自然災害から命を守るためにのリスク対策
(後編)

三井住友海上火災保険株式会社
M S & A D インターリスク総研株式会社

目次

(前編)

1. 自然災害の脅威

(後編)

2. 直近の自然災害から得られる3つの教訓

～命を守るために～

3. おわりに

2. 直近の自然災害から得られる3つの教訓 ～命を守るために～

教訓① 「ハザードマップを確認」

教訓② 「備蓄品を準備」

教訓③ 「避難開始のトリガーを決める」

2. 教訓① 「ハザードマップを確認」

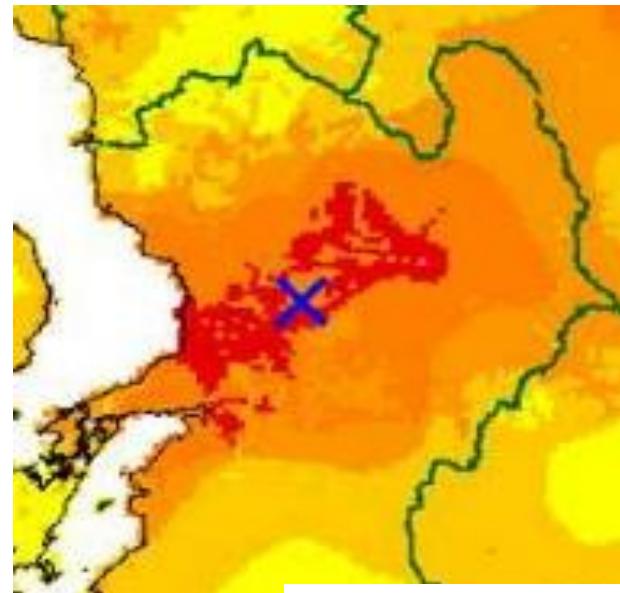
教訓①

地域のハザードマップ等を確認し、自宅や職場などで
どのような自然災害リスクがあるかを把握しましょう！

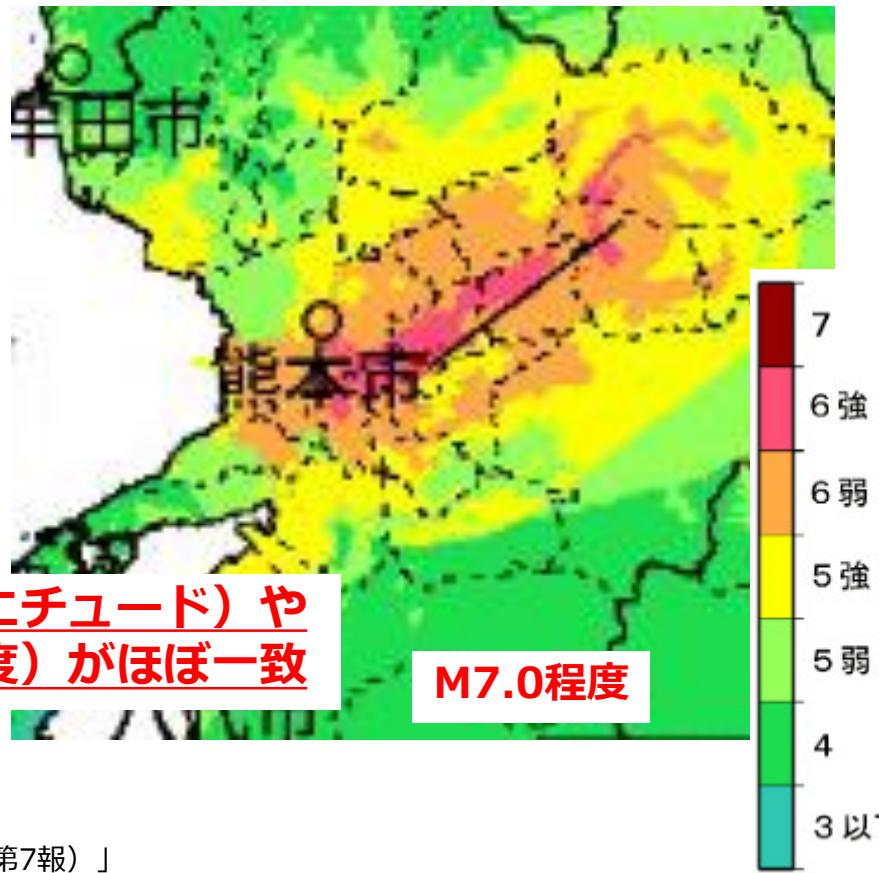
2. 教訓①・・・熊本地震から

<(1) 熊本地震本震における実際の震度分布と予測震度分布等の比較>

●本震の発生震度分布（布田川断層・布田川区間）



●本震の予測震度分布（布田川断層・布田川区間）



出典 左図：気象庁「『平成28年（2016年）熊本地震』について（第7報）」

(<https://www.jma.go.jp/jma/press/1604/16a/kaisetsu201604160330.pdf>)、

右図：出典：地震本部「『九州地方の活断層の長期評価（第一版）で新たに評価対象となった活断層で発生する地震の予測震度分布（簡便法計算結果）』」(2013) (https://www.jishin.go.jp/main/kyoshindo/yosokushindo/13dec_kyushu.pdf#page=9)

2. 教訓①・・・平成30年7月豪雨から

< (2) 洪水ハザードマップと浸水範囲 (岡山県倉敷市真備町) >

●西日本豪雨による浸水エリア (倉敷市真備町周辺)

実際の浸水範囲（左図）と想定浸水範団（右図）がほぼ一致

推定最大浸水深

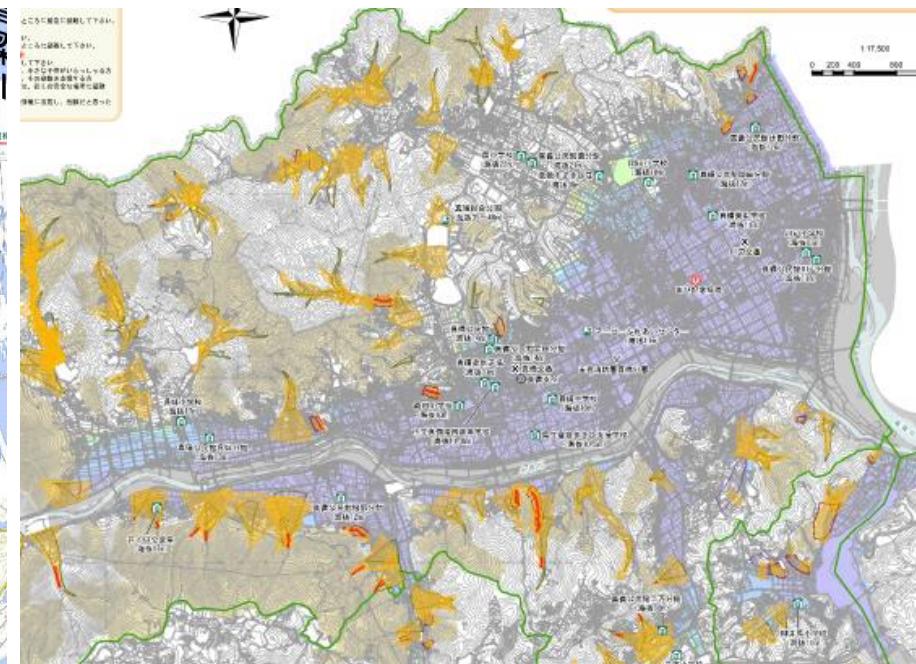
	0m
■	1m
■	2m
■	3m
■	4m
■	5m

- ✗ 決壊
- ✗ 法崩れ
- ✗ 越水



出典：国土地理院「平成30年7月豪雨による倉敷市真備町周辺
浸水想定段彩図」
(<https://www.gsi.go.jp/common/000208572.pdf>)

●倉敷市真備町周辺の予測浸水エリア



出典：倉敷市「洪水・土砂災害ハザードマップ」（2016作成 2017年更新）

(参考) 調べてみましょう！J-SHIS

MS&AD

MS&AD Insurance Group

防災科学技術研究所 「J-SHIS 地震ハザードステーション」
(<https://www.j-shis.bosai.go.jp>)



ここをク
リック

J-SHIS 地震ハザードステーション

Japan Seismic Hazard Information Station

文字サイズ 小 中 大 キーワード入力 検索

サイトマップ お問い合わせ English

トップ Top 記事一覧 Articles ダウンロード Download 用語集 Glossary よくある質問 FAQ Labs

J-SHISは、地震防災に資することを目的に、日本全国の「地震ハザードの共通情報基盤」として活用されることを目指して作られたサービスです。

全国地震動予測地図とは

J-SHISについて

J-SHIS Mapの使い方

スタート J-SHIS

J-SHIS Map を起動するには
スタートボタンを押して下さい

地震ハザードカルテ

J-SHIS Map R

地震ハザード評価の...

地形・地盤分類250m...

J-SHIS Labsコンテンツ一覧

The screenshot shows the main page of the J-SHIS website. At the top, there's a search bar with size options (small, medium, large), a keyword input field, and a search button. Below the search bar are links for Site Map, Contact, and English version. A navigation menu includes Top (Top), Article List (Articles), Download (Download), Glossary (用語集), FAQ (よくある質問), and Labs. The main content area features a map of Japan with color-coded hazard levels. To the left of the map, text describes J-SHIS as a seismic hazard information station. Below the map are four boxes: '全国地震動予測地図とは' (What is the National Seismic Motion Prediction Map?), 'J-SHISについて' (About J-SHIS), 'J-SHIS Mapの使い方' (How to use the J-SHIS Map), and a large yellow 'スタート J-SHIS' (Start J-SHIS) button. Below these are four smaller preview boxes: '地震ハザードカルテ' (Seismic Hazard Chart) showing a map with concentric circles and text about ground motion probability; 'J-SHIS Map R' (a detailed map of Japan); '地震ハザード評価の...' (Seismic Hazard Evaluation); and '地形・地盤分類250m...' (Topographic and Soil Classification 250m...). At the bottom, there's a footer for 'J-SHIS Labs' and a decorative horizontal bar.

(参考) 調べてみましょう！J-SHIS

MS&AD

MS&AD Insurance Group

<30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率>



地名 例：茨城県つく 場所を検索

地域指定

2024年(NIED作成版)

震源断層

- 主要活断層帯
- その他の活断層
- 海溝型地震震源断層
- 海溝型地震発生領域
- 主要活断層帯地表トレース

地震活動モデル

地すべり地形

地すべり地形 (詳細)

*地図を拡大すると表示されます

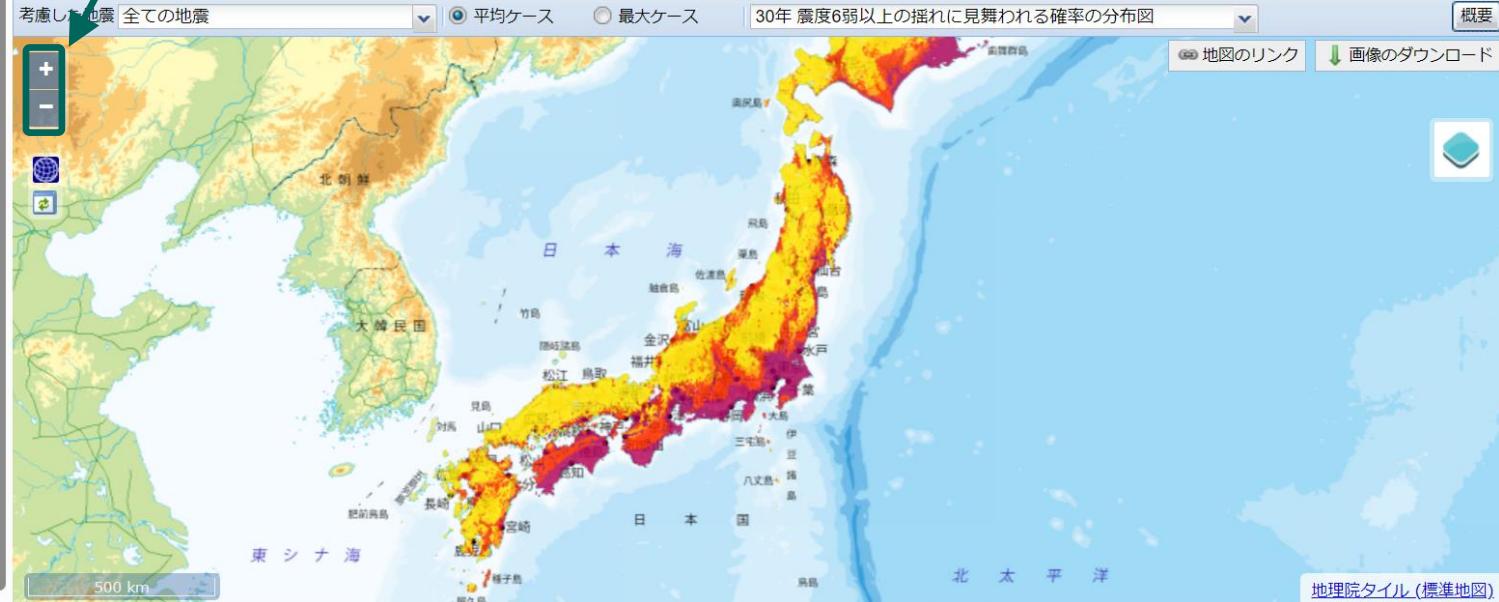
J-SHIS

>>> J-SHIS 地図

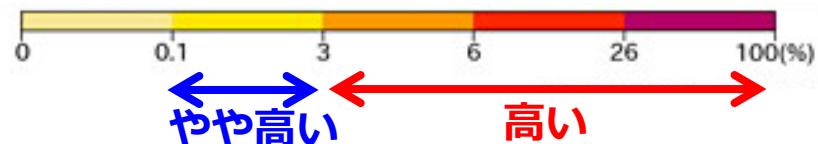
この+、-をクリックすると地図を拡大・縮小できます。
(マウスのホイールを回してもできます。)

English

防災科研
NIED



出典 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」
<https://www.j-shis.bosai.go.jp>

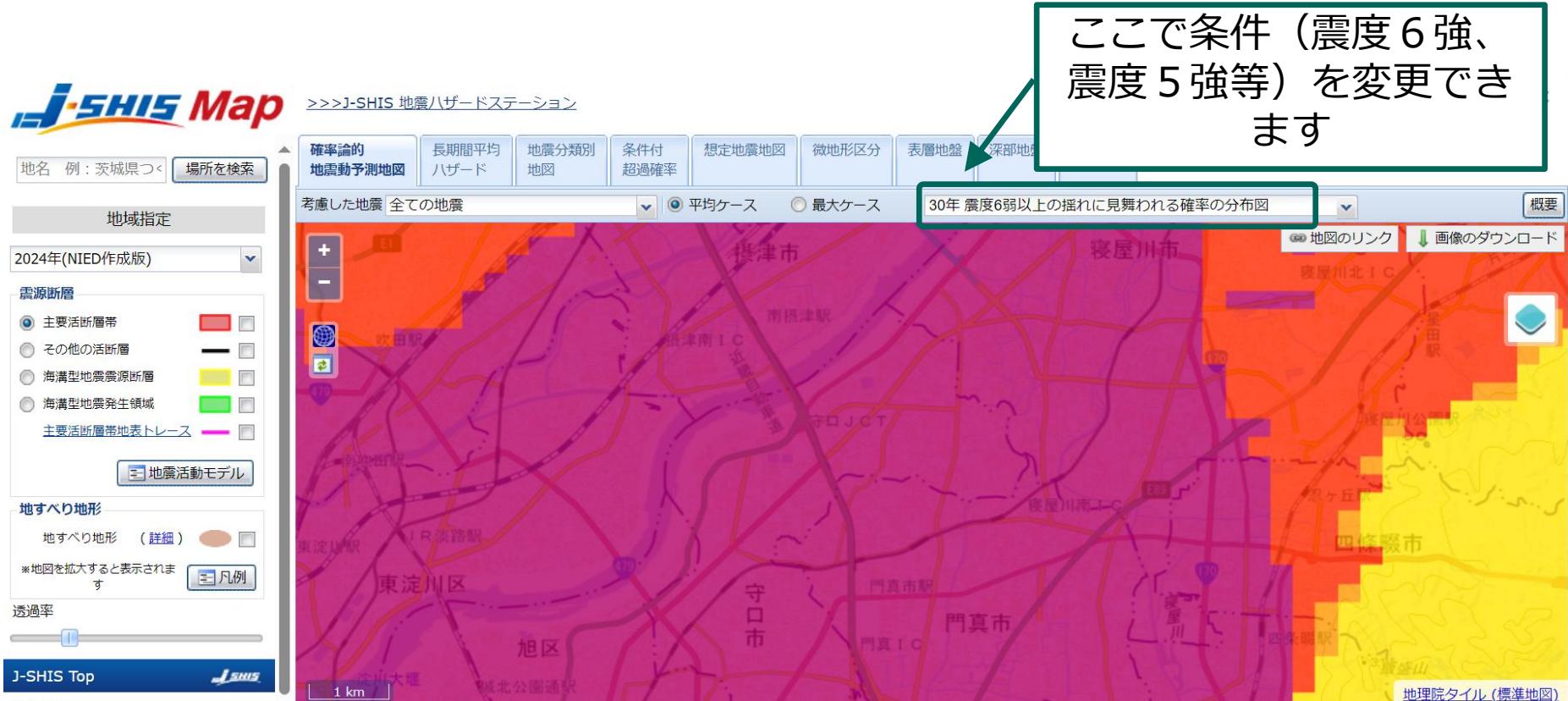


(参考) 調べてみましょう！J-SHIS

MS&AD

MS&AD Insurance Group

<30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（大阪府門真市周辺）>



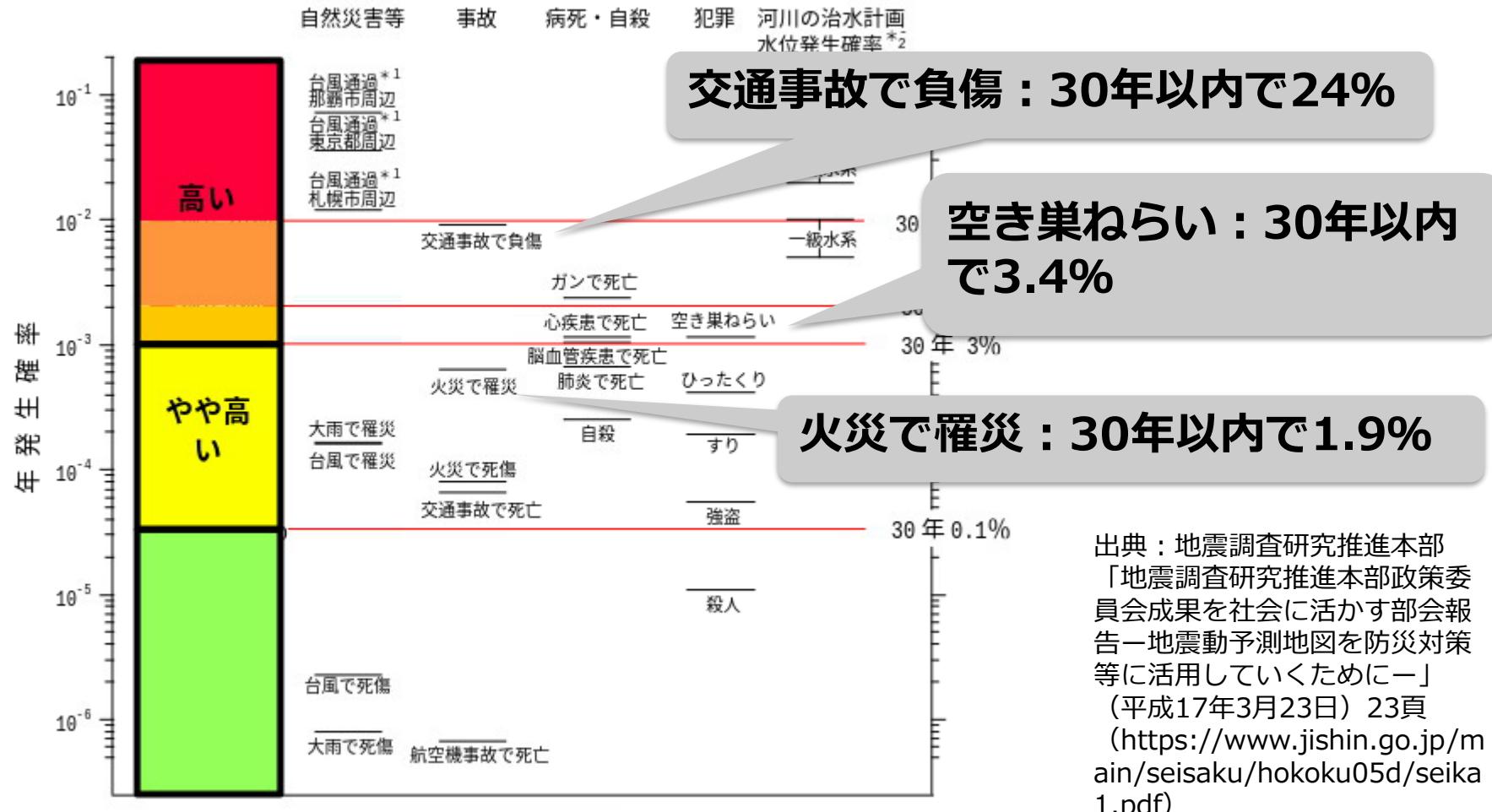
出典 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」
(<https://www.j-shis.bosai.go.jp>)

(参考) 調べてみましょう！J-SHIS

MS&AD

MS&AD Insurance Group

地震は起こらないと思っていませんか？ 身近なリスクと比べてみましょう



(参考) 調べてみましょう！水災ハザードマップ

MS&AD

MS&AD Insurance Group

国土地理院「重ねるハザードマップ」
(<https://disaportal.gsi.go.jp/maps/index.html>)

重ねるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

例：茨城県つくば市北郷1／国土地理院

選択中の情報

災害種別で選択

- 洪水・内水 (想定最大規模)
- 土砂災害
- 高潮 (想定最大規模)
- 津波 (想定最大規模)
- 道路防災情報
- 地形分類

掲載データに関する留意事項

+ すべての情報から選択

選択情報のリセット

表示中の情報はありません

+ - ボンチン(重複)

リスク検索

マウス

凡例

3D

300 km

「洪水・内水」をクリックする。
他にも「土砂災害」、「高潮」、「津波」等もある。

この+、-をクリックすると地図を拡大・縮小できます。
(マウスのホイールを回してもできます。)

＜洪水浸水想定区域（想定最大規模）門真市周辺）＞

重ねるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

例：茨城県つくば市北郷1／国土地理院

選択中の情報

災害種別で選択

- 洪水・内水 (想定最大規模)
- 土砂災害
- 高潮 (想定最大規模)
- 津波 (想定最大規模)
- 道路防災情報
- 地形分類

掲載データに関する留意事項

+ すべての情報から選択

選択情報のリセット

指定緊急避難場所

洪水

解説凡例

地図上をクリックすると、その地点の想定浸水深が表示される

出典：国土地理院「重ねるハザードマップ」

大阪府門真市大字門真
【洪水浸水想定区域（想定最大規模）】
洪水によって想定される浸水深：0.5m ~ 3.0m

門真市のハザードマップを見る

誤差のため、正確な位置が表示されていない場合もあります。また、災害リスク情報は現時点のものであり、状況が変わる可能性があります。詳細はこちらの注意事項をご確認ください。

住所検索に戻る ホームへ戻る

20m～
10～20m
5.0～10m
3.0～5.0m
0.5～3.0m
0.0～0.5m

2階の屋根以上が浸水する
2階部分まで浸水する程度
1階天井まで浸水する程度
大人の膝までかかる程度

凡例

3 km

「解説凡例」をクリックすると、凡例が表示される。

2. 教訓② 「備蓄品を準備」

教訓②

電気や水などのライフライン停止・物流の停止を想定し、
備蓄品を準備しましょう！

2. 教訓②・・・一般的な備蓄品の例 I

最低3日間分は準備しましよう！

品目	備考
<u>水（飲料用、調理用など）</u>	<u>1日あたり飲料用 3L</u> 、その他 7L 必要
<u>主食（レトルトご飯、麺など）</u>	<u>加熱せず調理できるアルファ米</u> がおすすめ
主菜（缶詰、レトルト食品、冷凍食品）	果物缶はおすすめ
加熱せず食べられるもの（チーズなど）	発災当日から役立ちます
菓子類（チョコレートなど）	飴などは気持ちを落ち着かせる効果も
栄養補助食品	栄養価高く、場所も取らない
調味料（しょうゆ、塩など）	長期の避難生活などで重宝します

2. 教訓②・・・一般的な備蓄品の例Ⅱ

限られた備蓄品を有効利用しましょう！

品目	備考
簡易トイレ	既存トイレに被せるだけ等の簡単なもの
充電式などのラジオ	情報収集の基本ツール
カセットコンロ・ガスボンベ	オール電化住宅の方は必須
懐中電灯・ランタン	両手がフリーになるランタンはおすすめ
ビニール袋	給水袋やトイレなど様々な応用可
常備薬	お薬手帳があれば、被災後入手も可能
食品包装用ラップ	ケガの手当や食器洗いの省力化など

2. 教訓②・・・自宅内避難の場合

備蓄品を管理する際には、ローリングストック法が便りです。



出典：政府広報オンライン「今日からできる食品備蓄。ローリングストックの始め方」(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202103/2.html>)

2. 教訓②・・・自宅外避難の場合

非常用持出袋を準備しておきましょう！



まとめておきたい大切な物

紙製の証書や証明書などはファスナー付きビニールケースに入れておくと、防水にもなります。

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 家族の写真 | <input type="checkbox"/> マイナンバーカード |
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳 | <input type="checkbox"/> 健康保険証 |
| <input type="checkbox"/> 有価証券・金券など | <input type="checkbox"/> お薬手帳 |
| <input type="checkbox"/> 運転免許証 | <input type="checkbox"/> 年金手帳 |

- 携帯トイレ
- ヘッドライト
- ヘルメット（折りたたみ式が便利）
- レインコート
- 防災用ホイッスル
- タオル
- 水(500ml を 1~2 本)

- マスク
- ゼリー飲料等
- 応急手当用品
- モバイルバッテリー
(乾電池式／ソーラー充電式)
- 給水袋
- 乾電池

出典：東京都「東京防災 改訂版2023」40-41頁

(<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/content/pdf2023/tb2023.pdf>)

2. 教訓③ 「避難開始のトリガーを決める」

教訓③

避難を開始するキッカケ（トリガー）を定めて、
逃げ遅れないようにしましょう！

2. 教訓③・・・平成30年7月豪雨から

広島県の場合。。。。

避難勧告や指示が出された人

217万人（最大）

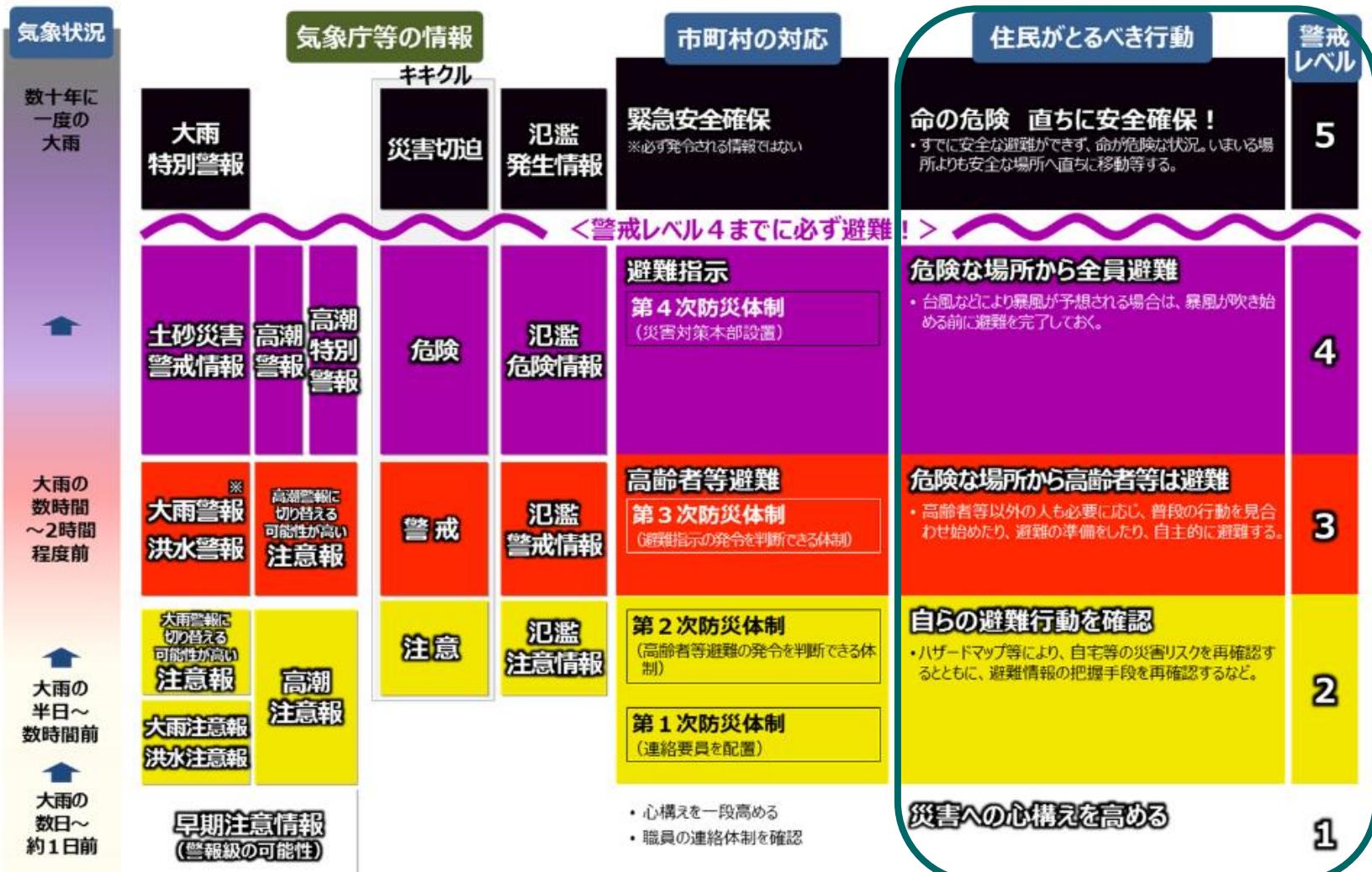
約1万7千人



<考えられる3つの原因>

- ①避難勧告などの情報を得られなかった
- ②情報は得ていたが、「足が不自由」等の理由で自力避難が困難であった
- ③情報は得ていたが、「自分は大丈夫」と過信し、避難しなかつた
⇒「正常性バイアス」⇒トリガーを定めて自動的に逃げる

2. 教訓③・・・トリガーとなる情報

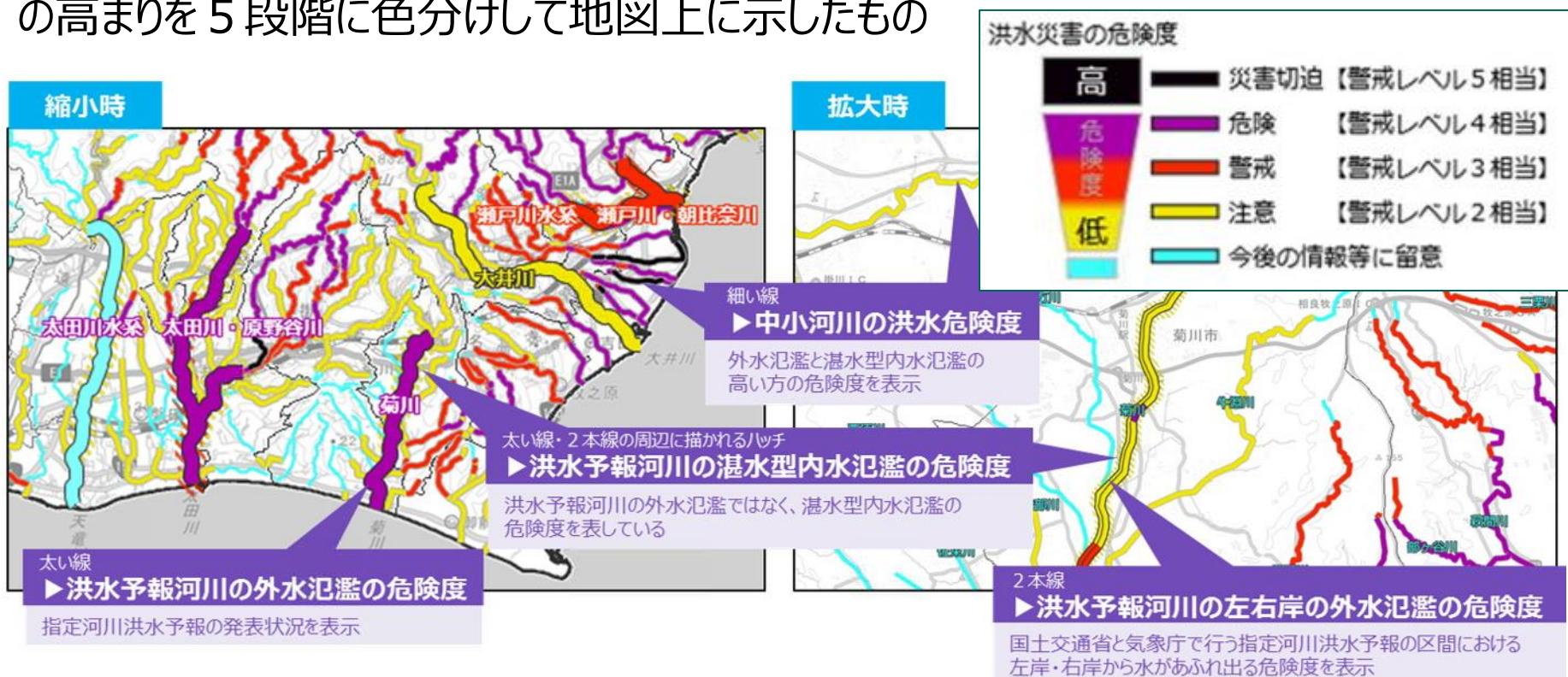


出典：気象庁HP「防災気象情報と警戒レベルとの対応について」 (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/alertlevel.html>)

2. 教訓③・・・洪水キキクル

洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）

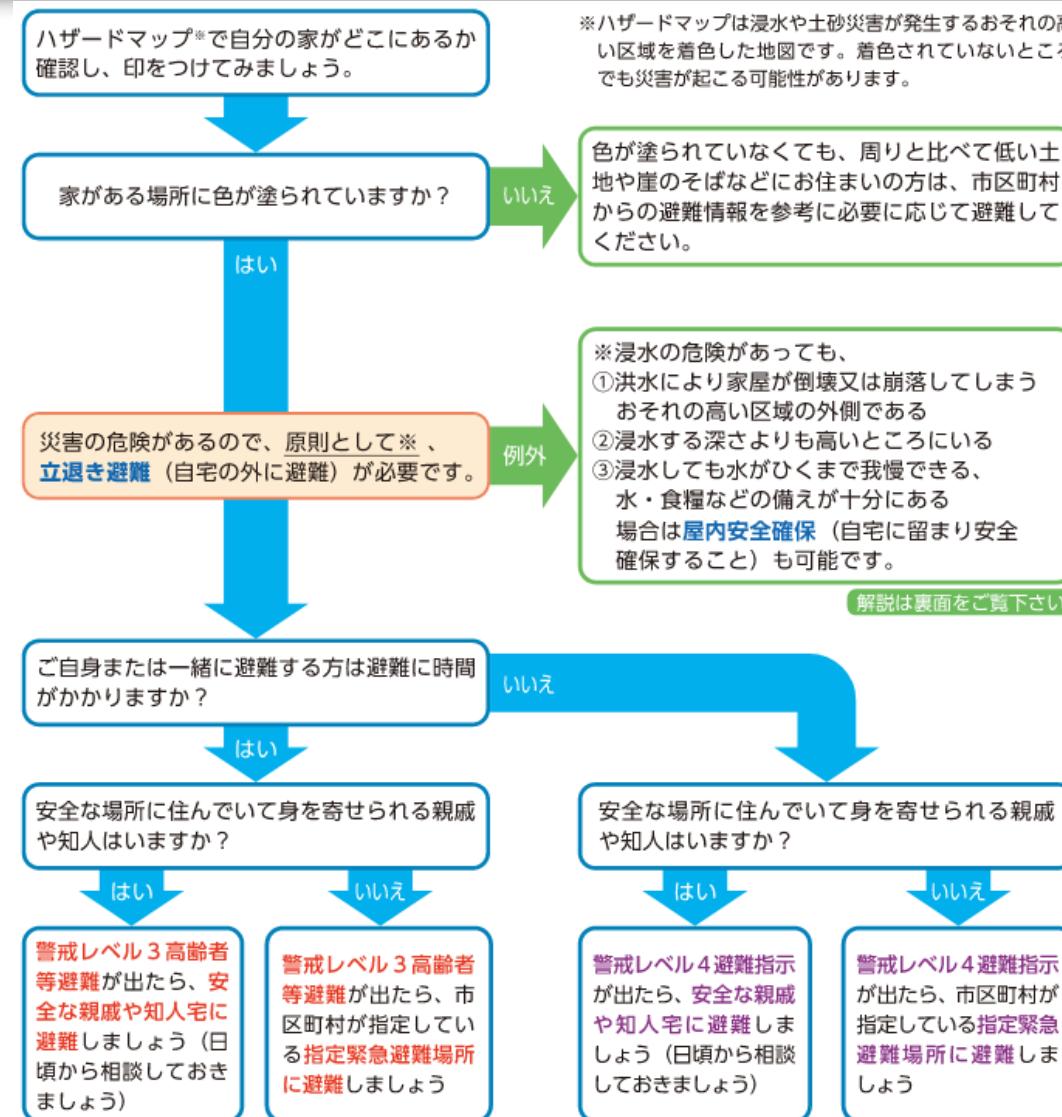
大雨による中小河川（水位周知河川及びその他河川）の洪水災害発生の危険度の高まりを5段階に色分けして地図上に示したもの



出典：気象庁「洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）」（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/riskmap_flood.html）

浸水キキクル（内水氾濫）、土砂キキクル（土砂災害）もある

(参考) 避難行動判定フロー



出典：内閣府（防災担当）
「避難行動判定フロー」
(https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/campaign.pdf)

3. おわりに

MS&AD

MS&AD Insurance Group



地震・水災対策はお金もかかるし、
やればキリがない。
どうやっていいのかも分からぬ。
いざとなつたら国や地域が助けてくれる
だろう

自分を守るのは自分自身です！！
できることからはじめましょう！！



MS&AD Insurance Group

MS&ADインターリスク総研株式会社

〒540-8677

大阪府大阪市中央区北浜4-3-1
三井住友海上大阪淀屋橋ビル

関西支店 リスクマネジメントグループ[®]

TEL: 06-6220-2913 FAX: 06-6220-2918